

平成27年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における堀川小学校の結果の分析と今後の取組について

文部科学省による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成27年4月から7月末までの期間に、5年生を対象として、「実技に関する調査」と「質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、体力等の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの体力向上をめざしています。学校の現状や取組の参考にしていただきたいと思います。

1 調査の目的

- (1) 子供の体力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公私立学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査の対象

- 国・公・私立学校の小学校第5学年、特別支援学校小学部第5学年の原則として全児童
- 堀川小学校では、5年生 83名

3 調査内容

(1) 児童生徒に対する調査

ア 実技に関する調査(以下、「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様)

小学校調査では、以下の種目を実施する。

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

イ 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査(以下「児童・生徒質問紙調査」という。)を実施する。

平成27年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シート

大阪市立堀川小学校

児童数

83

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.00	17.88	28.22	38.90	38.69	9.86	138.15	21.30	47.35
大阪市	16.48	19.16	32.16	38.84	48.29	9.39	147.79	22.76	52.23
全国	16.45	19.58	33.05	41.60	51.64	9.38	151.24	22.52	53.80
女子	15.02	18.63	35.64	36.51	33.66	9.88	129.57	12.05	51.03
大阪市	16.06	17.79	36.86	36.98	37.66	9.66	140.64	13.79	53.50
全国	16.05	18.42	37.44	39.55	40.69	9.62	144.77	13.77	55.18

結果の概要

男子は、全国平均と比較すると8種目すべてにおいて平均を下回っている。しかし、反復横跳びでは大阪市を少しだけ上回る結果であった。

女子は、全国平均と比較すると8種目中、上体起こしが上回っている。そのほかは平均を下回っている。本校の体力・運動能力は概ね全国及び大阪市平均を下回っている。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

成果

冬のかけ足集会の取り組みとそれによって培った力を発揮する場として大川沿いを走る「堀川マラソン大会」の実施により少しずつ持久力が付いているようである。目標をもって意欲的に取り組む児童が多く、1年生から6年生まで継続して実施していることで成果を上げている。

課題

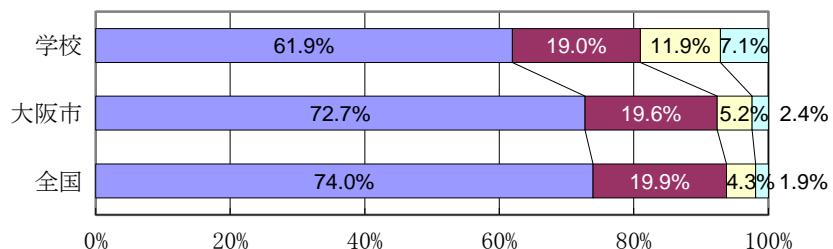
昨年度と同様、立ち幅とびは、全国・大阪市の平均との差が大きく現れており課題である。学級数増、運動場が狭いなどの条件の中、体つくり運動を工夫して行い筋力を高めていく必要がある。

運動やスポーツについて（男子）

質問番号	質問事項
------	------

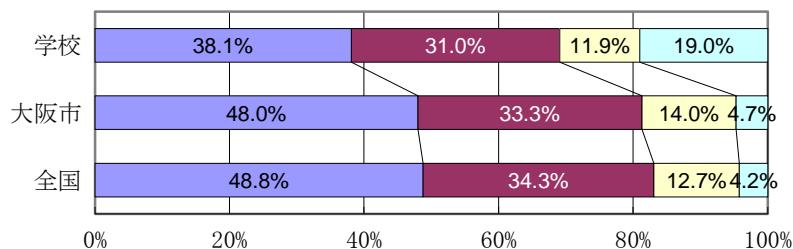
1

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。



2

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは得意ですか。



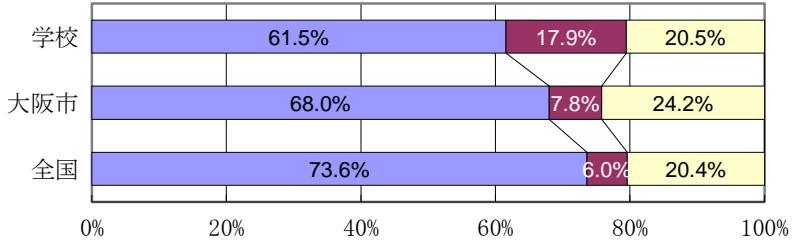
5

学校の運動部や学校外のスポーツクラブに入っていますか（スポーツ少年団をふくむ）。



6

中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



成果と課題

運動やスポーツを「好き」「やや好き」と答えたり中学校に進んだら運動やスポーツをしたいと答えたりしている男子は60%を超えており、しかし、大阪市や全国平均からは下回っている。運動やスポーツに対して積極的にかかわろうとする意識を育てる必要がある。

今後の取り組み

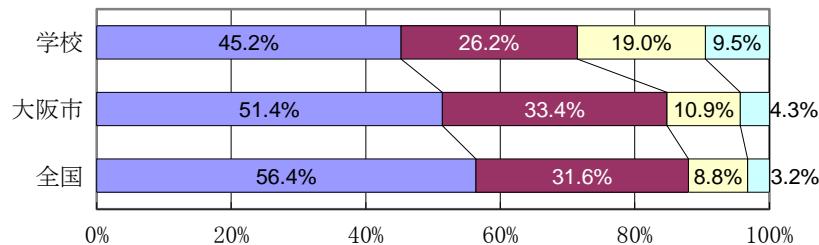
- ◇教員の指導力を高め、児童が「できる」「楽しい」と思えるような体育の授業を実施していく。
- ◇地域と連携しスポーツの楽しさを伝える指導者の育成を図り、スポーツと触れ合う機会を増やしていく。
- ◇小中連携を進め、中学校のクラブ活動について知る機会を設ける。

運動やスポーツについて（女子）

質問番号	質問事項
------	------

1

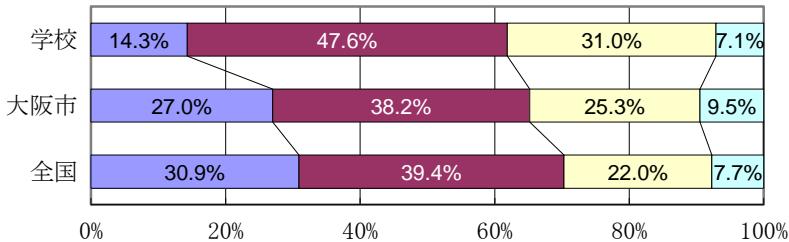
運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか



■好き
■やや好き
□ややくらい
□くらい

2

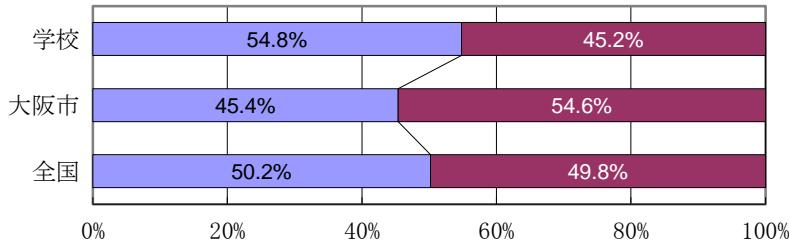
運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは得意ですか



■得意
■やや得意
□やや苦手
□苦手

5

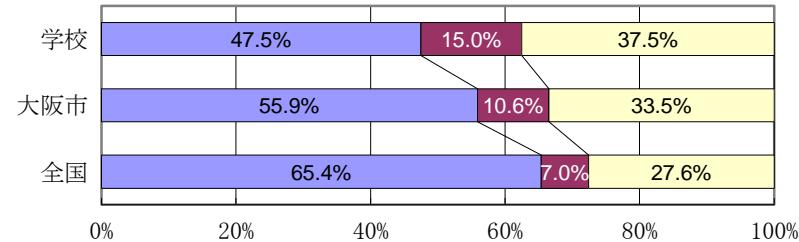
学校の運動部や学校外のスポーツクラブに入っていますか(スポーツ少年団をふくむ)。



■入っている
■入っていない

6

中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



■思う
■思わない
□分からない

成果と課題

運動やスポーツを「好き」「やや好き」と答えた児童は70%を超えており、「くらい」の割合が9.5%と全国の2倍になっている。また、4割近くが運動やスポーツが「苦手」と思っている。これから先、中学校に進んでも運動やスポーツする時間を持ちたいと「思う」女子は約半数である。まだまだ、運動に苦手意識を持っている子どもが多い。今後、積極的に運動関わろうとする子どもを育てる必要がある。

今後の取り組み

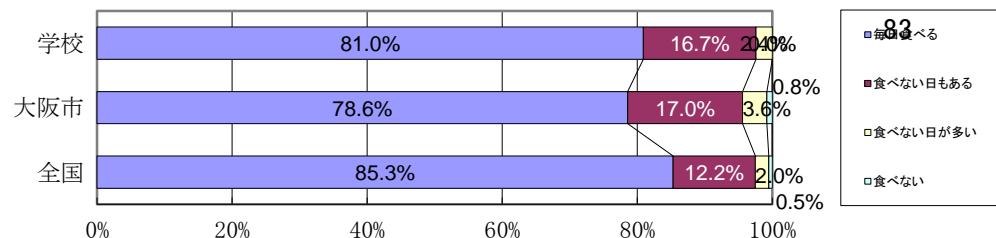
子どもたちが「運動ができた。」「運動が楽しい。」と思えるような指導の工夫を行いスポーツ大好きな子どもたちに育てるよう教職員の指導力を向上させる。また、運動に触れる機会を多くするよう子どもたちに呼びかけ積極的に休み時間は運動場で遊ぶよう声をかける。

ふだんの生活について（男子）

質問番号	質問事項
------	------

8

朝食は毎日食べますか(学校が休みの日もふくめます)



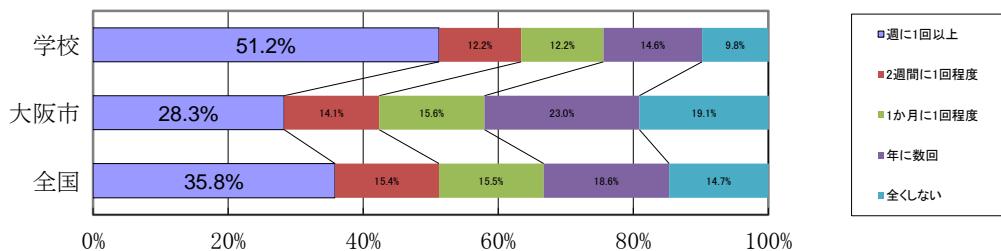
15

家人の人から運動やスポーツを積極的に行なうことをすすめられますか



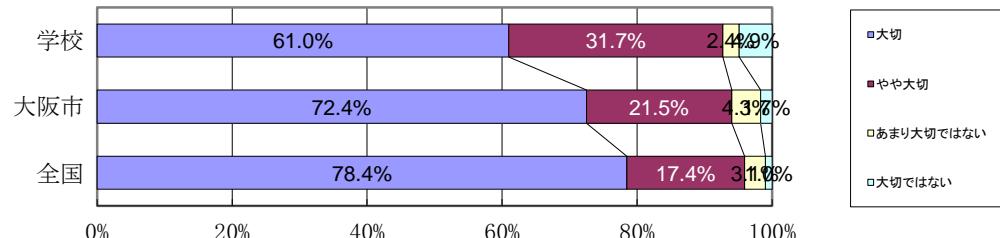
16

家人の人といっしょに、運動やスポーツをどのくらいしますか。



19-1

あなたが健康でいるために運動を行うことはどのくらい大切だと考えていますか。



成果と課題

朝ご飯を毎日食べる子どもについては、大阪市平均を3ポイント上回っている。また、家人の人といっしょに運動やスポーツをしている子どもも全国平均を大きく上回っている。家庭が子どもに関心を持ち積極的に子育てに取り組んでいることが読み取れる。しかし健康のために運動が大切であると思っている子どもは全国平均より10ポイント下回っている。

今後の取り組み

◇狭小の運動場を考えた時、学校としての子どもの体力運動能力向上のための場を工夫し創出することはもちろん引き続き、家人の人といっしょに運動やスポーツに取り組むよう促し、運動に親しむ子どもたちを育てる必要がある。

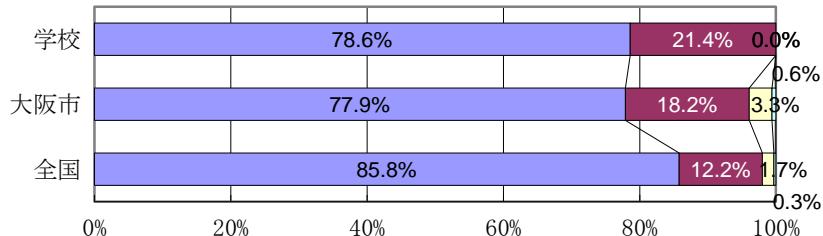
◇運動することと健康であることが密接に関連していることについて理解させることが必要である。

ふだんの生活について（女子）

質問番号 16

8

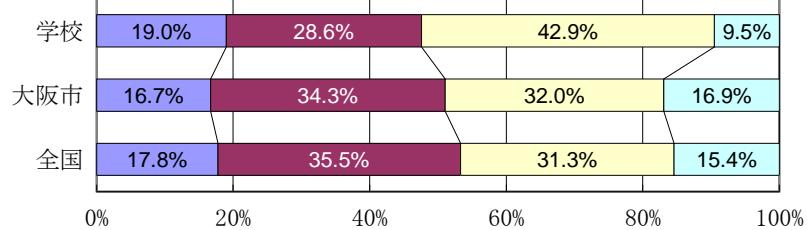
朝食は毎日食べますか(学校が休みの日もふくめます)



83
毎日食べる
食べない日もある
食べない日が多い
食べない

15

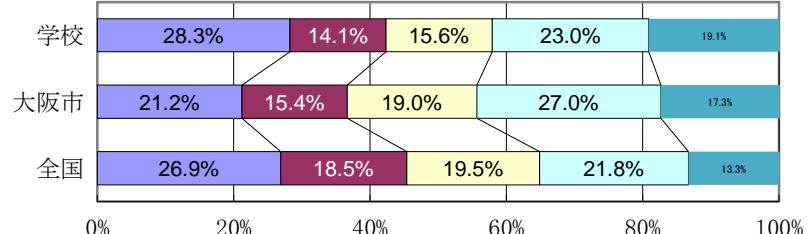
家人の人から運動やスポーツを積極的に行なうことをすすめられますか



よくある
ときどきある
あまりない
全くない

16

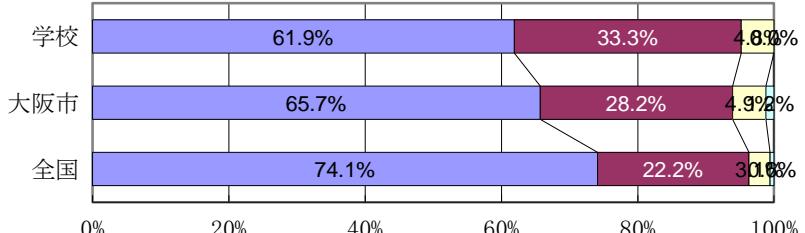
家人の人といっしょに、運動やスポーツをどのくらいしますか。



週に1回以上
2週間に1回程度
1か月に1回程度
年に数回
全くしない

19-1

あなたが健康でいるために運動を行うことはどのくらい大切だと考えていますか。



大切
やや大切
あまり大切ではない
大切ではない

成果と課題

男子に比べると家人の人と運動やスポーツをしている女子は少ない。スポーツや運動に対して興味関心のある児童が少ない傾向にあることがわかる。

今後の取り組み

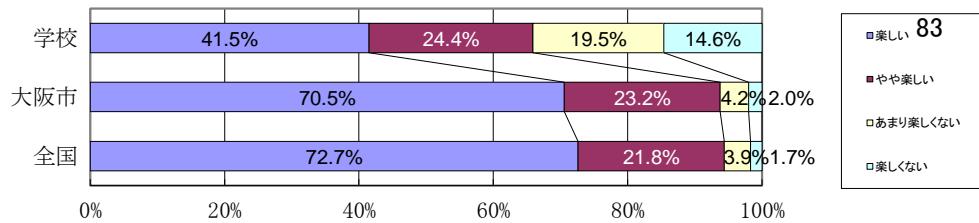
◇狭小の運動場を考えた時、学校としての子どもの体力運動能力向上のための場を工夫し創出することはもちろん引き続き、家人の人といっしょに運動やスポーツに取り組むよう促し、運動に親しむ子どもたちを育てる必要がある。

◇運動することと健康であることが密接に関連していることについて理解させることが必要である。

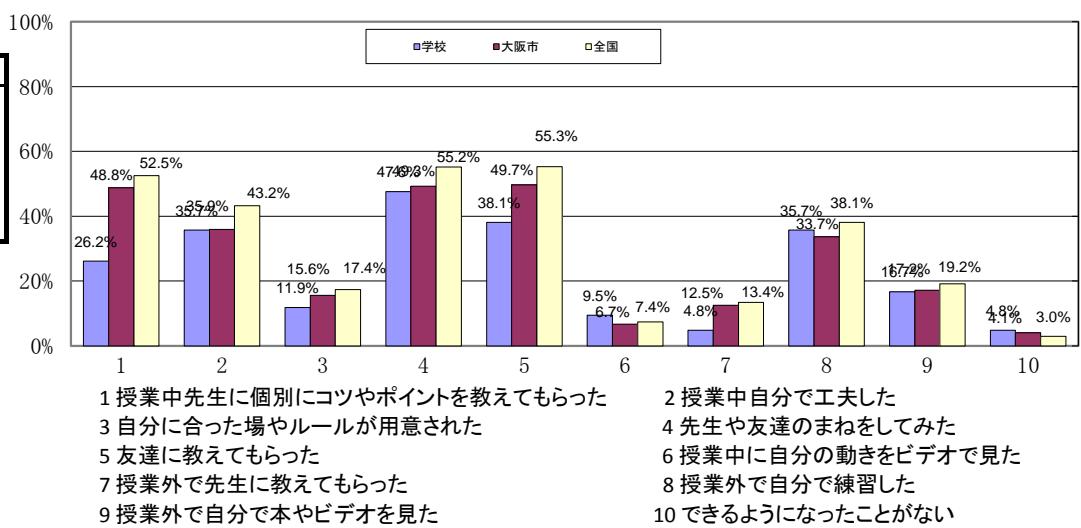
体育の授業について（男子）

質問番号	質問事項
------	------

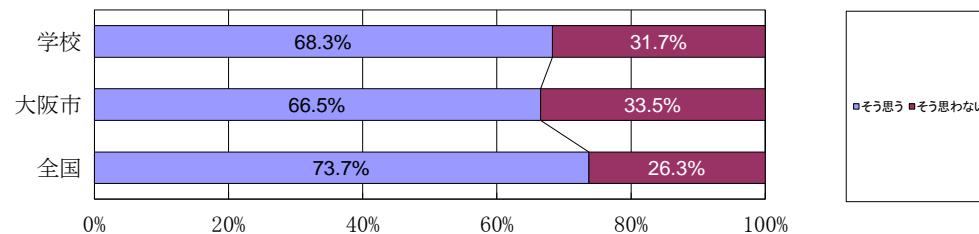
20
体育の授業は楽しいですか



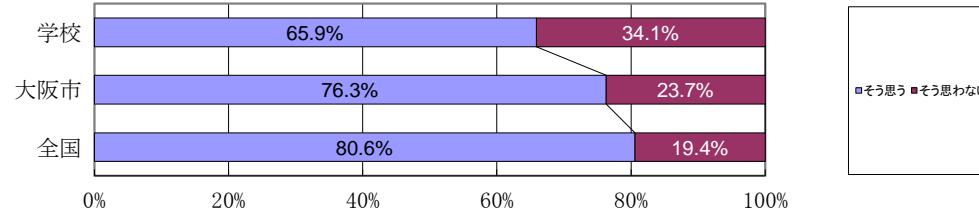
26
これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



25-4
体育の授業であなたはどのように感じていますか。体育の授業で学んだことを、授業以外の時にも行ってみようと思う。



25-5
体育の授業であなたはどのように感じていますか。体育の授業では、仲間と協力して課題を解決することがある。



成果と課題

体育の授業について「楽しい」「やや楽しい」と応えた児童が全国・大阪市平均を大きく下回っている。また、体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけの理由として「授業外で自分で練習した」児童が大阪市平均を上回っている。

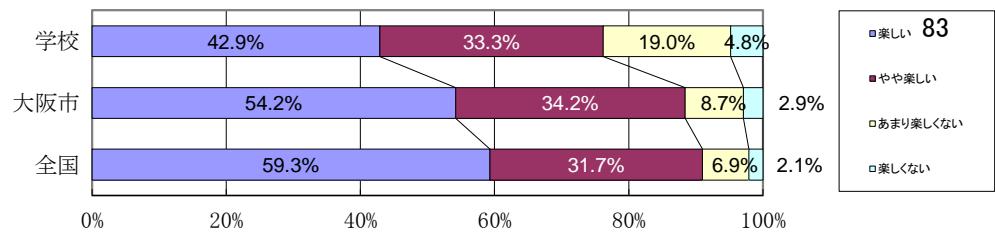
今後の取り組み

- ◇体育の授業を含め、多様な運動やスポーツに親しむ機会を工夫し、運動やスポーツへの苦手意識を軽減するよう子どもたちに声をかける。
- ◇体育の授業において仲間と協力して課題を解決する言語活動を取り入れるような指導法の工夫を行う。

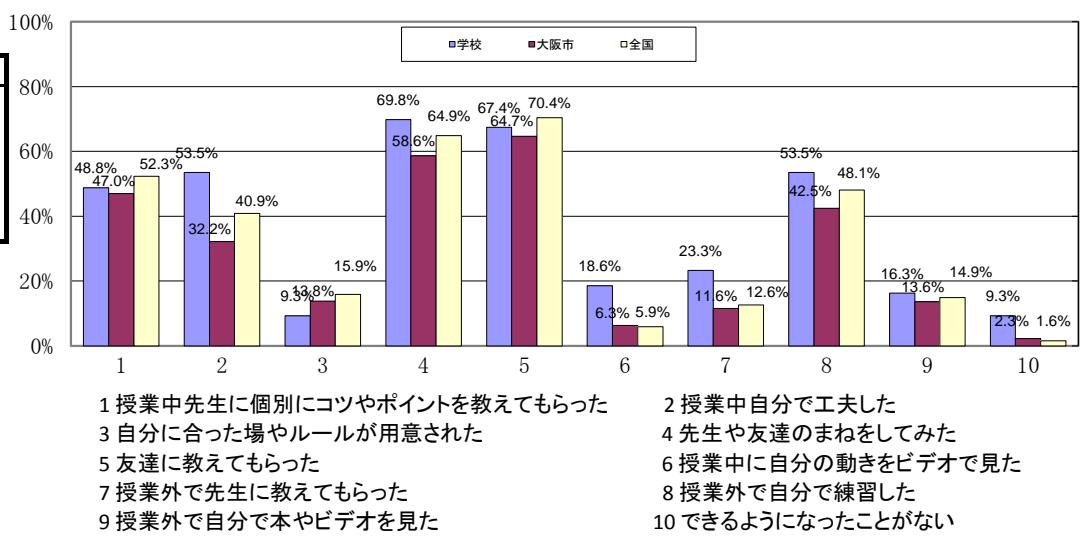
体育の授業について（女子）

質問番号	質問事項
------	------

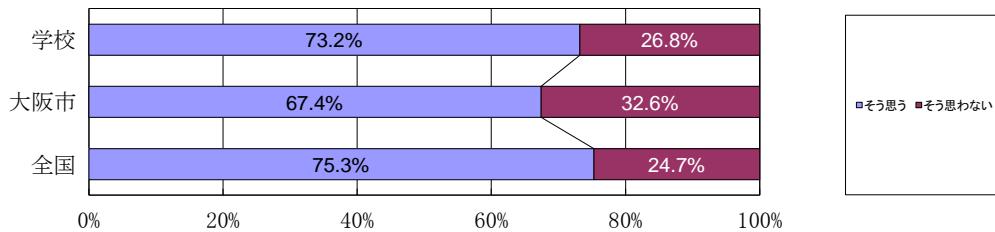
20
体育の授業は楽しいですか



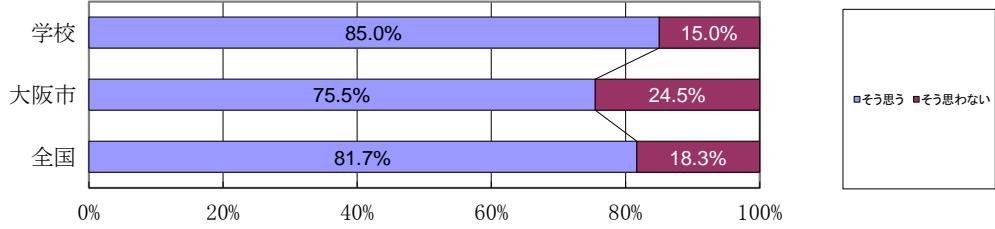
26
これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



25-4
体育の授業であなたはどのように感じていますか。体育の授業で学んだことを、授業以外の時にも行ってみようと思う。



25-5
体育の授業であなたはどのように感じていますか。体育の授業では、仲間と協力して課題を解決することがある。



成果と課題

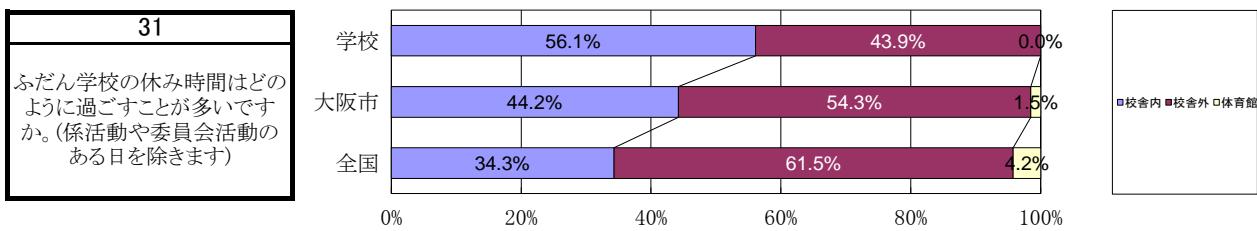
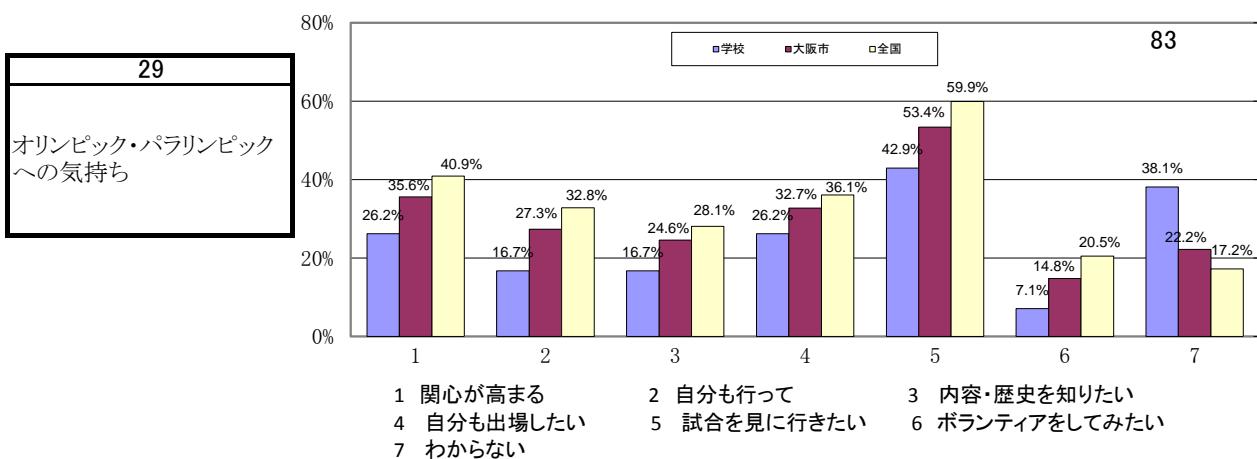
体育の授業が楽しいと答えた女子は42.9%と全国や大阪市平均から10ポイント以上下回っている。また、体育の授業でできるようになったことがないと答えていた女子が9.3%と全国や大阪市と比べると高い数値を示している。楽しいと思える体育への指導法の工夫が不可欠となる。

今後の取り組み

◇教員の指導力を高め、児童が「できる」「楽しい」と思えるような体育の授業を実施する。そのため研究授業を行う。また共に学び合う場を設定した授業を行う。

小学校入学前や現在のことについて（男子）

質問番号	質問事項
------	------



成果と課題

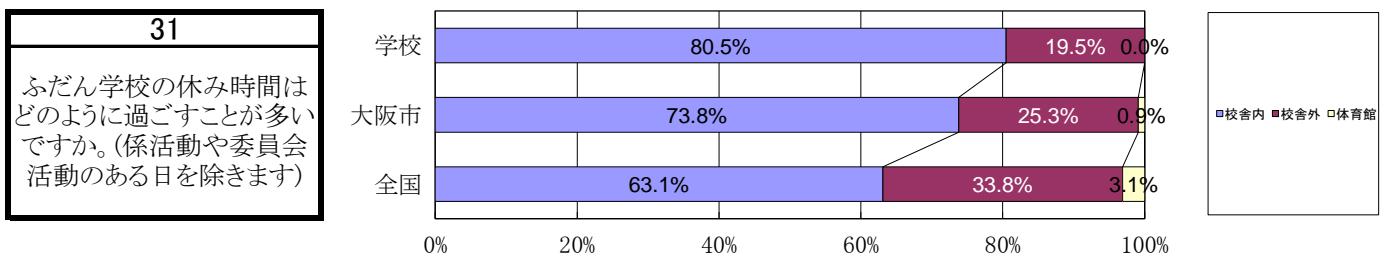
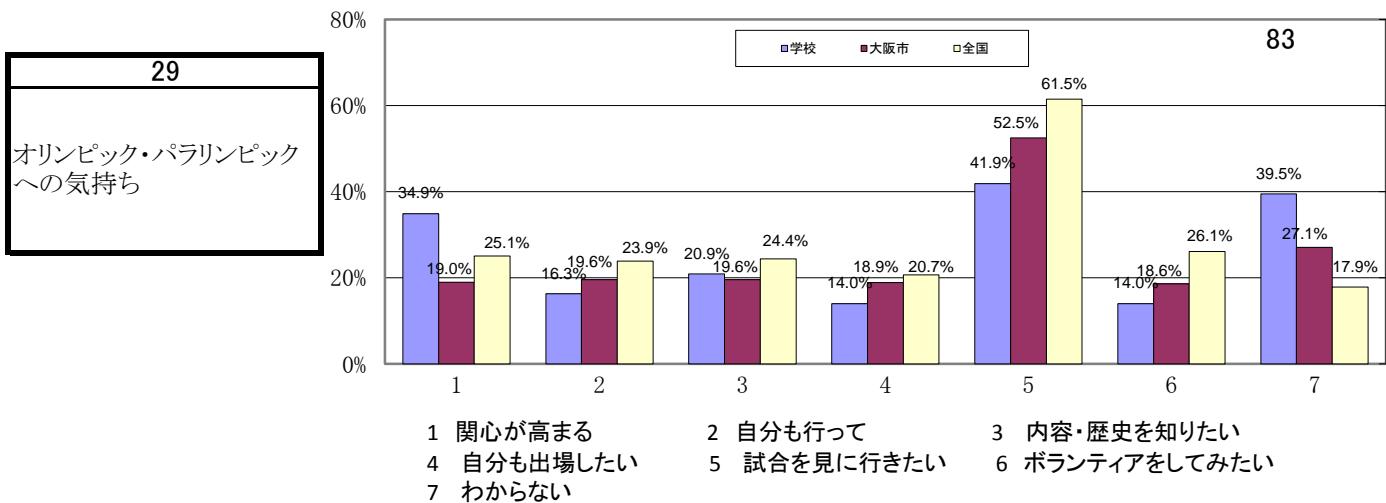
「ふだんから学校の休み時間はどのように過ごすことが多いですか」の設問に対して全国平均より20ポイント以上校舎内で過ごしていることがわかる。やはり運動場が狭いこともあり、運動場で積極的に遊ぶ児童が少ないことがわかる。外に出て遊ぶような声掛けが必要である。

今後の取り組み

◇校舎内で過ごす子どもたちが多いことから運動能力の低下がうかがえる。今後も継続して運動場に出て遊ぶことについて声掛けを続けていくようとする。

小学校入学前や現在のことについて（女子）

質問番号	質問事項
------	------



成果と課題

オリンピック・パラリンピックへの関心は全国平均と比べると高いことがわかる。また、ふだん学校の休み時間はどのように過ごすことが多いですかについては、校舎内で過ごすが15ポイント以上全国平均を上回っている。

今後の取り組み

◇体育の授業を含め、多様な運動やスポーツに親しむ機会を工夫し、運動やスポーツへの苦手意識を軽減するよう子どもたちに声をかける。